



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社

コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 石渡 恒夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 廣川 雄一郎

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

TEL 03-3280-9135

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	214,555	△2.8	13,312	△13.2	8,806	△16.8	2,718	△28.5
23年3月期第3四半期	220,718	△0.2	15,330	5.0	10,588	14.1	3,804	22.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,715百万円 (△8.3%) 23年3月期第3四半期 2,962百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.93	—
23年3月期第3四半期	6.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	962,017	184,702	19.2
23年3月期	982,104	185,323	18.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 184,271百万円 23年3月期 184,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	△1.3	17,500	△10.3	11,200	△16.5	3,000	△57.4	5.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	551,521,094 株	23年3月期	551,521,094 株
24年3月期3Q	179,206 株	23年3月期	169,000 株
24年3月期3Q	551,346,557 株	23年3月期3Q	551,383,056 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)

平成 24 年 3 月期の個別業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,600	2.3	4,600	△20.0	5,000	33.5	9.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10
【第3四半期連結損益計算書（前年同期比較）】	10
【セグメント情報（前年同期比較）】	11
【鉄道運輸成績】	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）のわが国経済は、東日本大震災の影響などにより、経済の混乱や消費者心理の冷え込み等があり、期首に景気が大幅に悪化しました。その後、景気は回復に向かいつつありましたが、失業率は高い水準で推移し、欧州の金融不安などを背景に海外景気の下振れや円高、株安が進行するなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような厳しい事業環境のなか、当社グループは、公共交通機関をはじめとしたライフラインを担う企業集団として各事業において積極的に節電を図りながら、引き続き安全・安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,145億5千5百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は133億1千2百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益は88億6百万円（前年同期比16.8%減）となりました。これに、法人税率引下げに関連する法律の公布により、繰延税金資産の一部を取り崩した結果、四半期純利益は27億1千8百万円（前年同期比28.5%減）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、安定輸送の確保に努めながら、夏季に節電のため一部の区間における電車運行本数の削減を実施しました。また、当社線の利用促進を図るため、ダイヤを変更したほか、開業1周年を迎えた羽田空港国際線ターミナル駅などで、沿線自治体等と協力し旅客の誘致に努めました。さらに、羽田空港国際線ターミナル駅に外貨両替機等を設置するなど、駅の利便性向上を図りました。

また、引き続き安全対策を最重要課題とし、連続立体交差化工事を進め、京急蒲田駅付近では高架化工事を、大師線では地下化工事を推進しました。さらに、高機能ATS（C-ATS）の機能向上により踏切道防護システムの使用を一部区間において開始したほか、六浦駅でホームの安全対策工事を進めました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス㈱および川崎鶴見臨港バス㈱は共同で、横浜駅～浮島線の運行を開始したほか、横浜駅～東扇島線を増便しました。また、産業道路駅前のバス発着所の完成に伴い、川崎鶴見臨港バス㈱は、新規2路線の運行を開始し、通勤の利便性向上を図りました。さらに、京浜急行バス㈱は、羽田空港からのアクセス向上を図るため、羽田空港～富士山駅線および横浜駅・羽田空港～軽井沢駅前線、羽田空港・横浜駅～箱根湯本駅線の運行を開始しました。

タクシー事業では、PASMOMO電子マネーの導入を進め、利便性の向上を図りました。また、羽田空港と神奈川方面間の定額運賃制タクシーの対象地区を拡大し、新規顧客の開拓を図りました。

しかしながら、東日本大震災や天候不良による出控え、沿線催し物の減少の影響等を受け、交通事業の営業収益は848億5百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は84億8千4百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、横須賀市野比地区において土地の販売を行ったほか、他社と共同で港町駅前において、大規模分譲マンション「リヴァリエ」の第1棟目の販売を開始しました。また、京急不動産㈱は、他社と共同で大鳥居駅近隣の分譲マンション「ライオンズ ウイングゲート」の販売を開始したほか、東門前駅近隣の分譲マンション「ワンズレジデンス」等を引き続き販売しました。このほ

か、当社および京急不動産㈱は、引き続き「パームヒルズ京急富岡」分譲地などにおいて、立地特性を活かした宅地・戸建住宅を販売しました。

不動産賃貸業では、当社は、複合施設「SHINAGAWA GOOS」を開業したほか、既存オフィスの資産価値向上を図り、高稼働率の維持に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は194億4百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は25億9千2百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAや観音崎京急ホテルなどは、近隣施設と連携し、コンセプトルームの宿泊プランを販売するなど、新規顧客の獲得に努めました。また、京急EXインは、「SHINAGAWA GOOS」内に新たに開業した「京急EXイン 品川駅前」をはじめ、各館が好調に稼働しました。さらに、経営の効率化を図るためホテル事業の再編を推進し、「高輪京急ホテル」を改装し、「京急EXイン 高輪」として開業しました。

レジャー施設業では、京急開発㈱は、「ボートレース平和島」の外向発売所の営業時間を拡大したほか、羽田空港の早朝時間帯の航空便にあわせ「天然温泉 平和島」と羽田空港間の無料送迎バスの運行を開始するなど、利用の促進を図りました。

しかしながら、訪日旅客の激減などの影響により、レジャー・サービス事業の営業収益は287億8千6百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益は4億2千2百万円（前年同期は営業損失6億3千6百万円）となりました。

流通事業

百貨店業では、㈱京急百貨店は、開店15周年を迎え、婦人服売場等の改装を進めたほか、新規テナントの誘致等を行い、新規顧客の創出を図りました。

ストア業では、ユニオネックス㈱は、建替工事を進めていた「もとまちユニオン本店」をグランドオープンしたほか、「もとまちユニオン」の都心部への進出を積極的に行い、新宿店および六本木店を開業しました。また、㈱京急ストアは、前期に開業した新川崎店が順調に推移しました。なお、㈱京急ストアは、2月に新業態の小型店舗「京急ストア グロッサリーマーケット 伊勢佐木町店」を開業しました。

物品販売業では、㈱京急ステーションコマースは、引き続き駅売店のセブン-イレブンへの転換を推進し、羽田空港国際線ターミナル店をはじめ、各店が好調に推移しました。

以上の結果、流通事業の営業収益は811億3千万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は5億5千2百万円（前年同期比694.4%増）となりました。

その他

京急建設㈱および京急電機㈱は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。

しかしながら、京急電機㈱で前年同期に大型工事を竣工したことの反動などにより、その他の事業の営業収益は301億7千5百万円（前年同期比24.9%減）、営業利益は10億8千9百万円（前年同期比45.2%減）となりました。

なお、当社は、京急グループのポイントカードサービスをリニューアルし、「京急プレミアムポイント」として運用を開始しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末と比べ200億8千7百万円減少しました。

負債は、借入金の減少などにより前連結会計年度末と比べ194億6千7百万円減少しました。

また、純資産は、四半期純利益による増加はありましたが、剰余金の配当などにより前連結会計年度末と比べ6億2千万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響等から緩やかに持ち直しているものの、海外景気の下振れや円高の進行が続くなど、引き続き厳しい状況が続くものと予想しております。

通期の連結業績予想については、第3四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、交通事業やレジャー・サービス事業を中心に、平成23年11月9日に公表した前回予想値を上回る見通しとなりましたので、営業利益および経常利益は上方修正しておりますが、法人税率引下げに関連する法律の公布により、繰延税金資産の一部を取り崩すことから、当期純利益については下方修正しております。

平成24年3月期通期連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率 (%)
営業収益	297,000	296,000	△1,000	△0.3
営業利益	16,500	17,500	1,000	6.1
経常利益	10,000	11,200	1,200	12.0
当期純利益	4,000	3,000	△1,000	△25.0

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,030	39,611
受取手形及び売掛金	10,881	10,835
商品及び製品	2,548	2,765
分譲土地建物	85,272	87,094
仕掛品	2,845	3,286
原材料及び貯蔵品	575	655
繰延税金資産	2,180	1,931
その他	6,366	6,929
貸倒引当金	△123	△42
流動資産合計	167,577	153,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	295,217	295,480
機械装置及び運搬具（純額）	42,563	38,964
土地	148,297	149,003
建設仮勘定	236,905	236,339
その他（純額）	6,998	7,472
有形固定資産合計	729,982	727,259
無形固定資産		
のれん	4,629	3,960
その他	6,236	6,610
無形固定資産合計	10,866	10,571
投資その他の資産		
投資有価証券	33,749	33,822
長期貸付金	2,520	2,379
繰延税金資産	12,189	11,340
その他	25,454	23,773
貸倒引当金	△236	△197
投資その他の資産合計	73,677	71,118
固定資産合計	814,526	808,949
資産合計	982,104	962,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,250	19,934
短期借入金	146,139	133,570
コマーシャル・ペーパー	18,000	25,000
1年内償還予定の社債	202	196
未払法人税等	3,707	2,133
繰延税金負債	—	11
前受金	4,837	5,045
賞与引当金	1,193	1,265
役員賞与引当金	145	—
その他	25,510	26,639
流動負債合計	231,986	213,796
固定負債		
社債	90,566	100,394
長期借入金	277,043	261,658
繰延税金負債	619	587
退職給付引当金	5,719	6,202
役員退職慰労引当金	693	692
長期前受工事負担金	161,162	166,392
その他	28,990	27,589
固定負債合計	564,795	563,517
負債合計	796,781	777,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,157
利益剰余金	97,832	97,243
自己株式	△122	△128
株主資本合計	185,607	185,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△713	△739
その他の包括利益累計額合計	△713	△739
少数株主持分	429	431
純資産合計	185,323	184,702
負債純資産合計	982,104	962,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
営業収益	220,718	214,555
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	179,917	176,191
販売費及び一般管理費	25,469	25,050
営業費合計	205,387	201,242
営業利益	15,330	13,312
営業外収益		
受取利息	73	75
受取配当金	307	362
持分法による投資利益	299	334
その他	1,142	867
営業外収益合計	1,822	1,640
営業外費用		
支払利息	5,942	5,814
その他	622	332
営業外費用合計	6,565	6,146
経常利益	10,588	8,806
特別利益		
工事負担金等受入額	198	151
特別利益合計	198	151
特別損失		
投資有価証券評価損	1,715	390
固定資産除却損	193	231
固定資産圧縮損	198	151
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	691	—
特別損失合計	2,799	773
税金等調整前四半期純利益	7,987	8,184
法人税、住民税及び事業税	4,382	4,476
法人税等調整額	△229	965
法人税等合計	4,152	5,441
少数株主損益調整前四半期純利益	3,835	2,742
少数株主利益	31	23
四半期純利益	3,804	2,718

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,835	2,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△873	△26
その他の包括利益合計	△873	△26
四半期包括利益	2,962	2,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,930	2,692
少数株主に係る四半期包括利益	31	23

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第 3 四半期連結累計期間（自平成23年 4 月 1 日 至平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間（自平成22年 4 月 1 日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営 業 収 益								
外部顧客への営業収益	85,335	12,241	28,513	79,341	15,286	220,718	—	220,718
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,531	4,952	3,600	1,483	24,906	36,473	△36,473	—
計	86,867	17,193	32,113	80,824	40,193	257,191	△36,473	220,718
セグメント利益又は損失 (△)	11,715	1,999	△636	69	1,987	15,135	194	15,330

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第 3 四半期連結累計期間（自平成23年 4 月 1 日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営 業 収 益								
外部顧客への営業収益	83,273	14,379	25,562	79,835	11,503	214,555	—	214,555
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,531	5,025	3,223	1,294	18,671	29,746	△29,746	—
計	84,805	19,404	28,786	81,130	30,175	244,301	△29,746	214,555
セグメント利益	8,484	2,592	422	552	1,089	13,140	171	13,312

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 3 四半期連結累計期間（自平成23年 4 月 1 日 至平成23年12月31日）

該当事項はありません。

3. 補足情報

【第3四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	220,718	214,555	△6,162	△2.8
II 営業費	205,387	201,242	△4,145	△2.0
1. 運輸業等営業費及び売上原価	179,917	176,191	△3,725	△2.1
2. 販売費及び一般管理費	25,469	25,050	△419	△1.6
営業利益	15,330	13,312	△2,017	△13.2
III 営業外収益	1,822	1,640	△182	△10.0
1. 受取利息	73	75	1	2.6
2. 受取配当金	307	362	55	18.1
3. 持分法による投資利益	299	334	34	11.6
4. その他	1,142	867	△274	△24.0
IV 営業外費用	6,565	6,146	△418	△6.4
1. 支払利息	5,942	5,814	△128	△2.2
2. その他	622	332	△290	△46.6
経常利益	10,588	8,806	△1,782	△16.8
V 特別利益	198	151	△47	△23.8
1. 工事負担金等受入額	198	151	△47	△23.8
VI 特別損失	2,799	773	△2,025	△72.4
1. 投資有価証券評価損	1,715	390	△1,324	△77.2
2. 固定資産除却損	193	231	37	19.6
3. 固定資産圧縮損	198	151	△47	△23.8
4. 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	691	—	△691	△100.0
税金等調整前四半期純利益	7,987	8,184	196	2.5
法人税、住民税及び事業税	4,382	4,476	94	2.1
法人税等調整額	△229	965	1,195	—
法人税等合計	4,152	5,441	1,289	31.1
少数株主損益調整前四半期純利益	3,835	2,742	△1,093	△28.5
少数株主利益	31	23	△7	△24.8
四半期純利益	3,804	2,718	△1,085	△28.5

【セグメント情報（前年同期比較）】

	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交 通 事 業				
営 業 収 益	86,867	84,805	△2,062	△2.4
営 業 利 益	11,715	8,484	△3,230	△27.6
不 動 産 事 業				
営 業 収 益	17,193	19,404	2,211	12.9
営 業 利 益	1,999	2,592	592	29.7
レジャー・サービス事業				
営 業 収 益	32,113	28,786	△3,327	△10.4
営業利益又は営業損失(△)	△636	422	1,058	—
流 通 事 業				
営 業 収 益	80,824	81,130	305	0.4
営 業 利 益	69	552	483	694.4
そ の 他				
営 業 収 益	40,193	30,175	△10,017	△24.9
営 業 利 益	1,987	1,089	△898	△45.2
合 計				
営 業 収 益	257,191	244,301	△12,890	△5.0
営 業 利 益	15,135	13,140	△1,994	△13.2
調 整 額				
営 業 収 益	△36,473	△29,746	6,727	—
営 業 利 益	194	171	△23	△11.9
四半期連結損益計算書計上額				
営 業 収 益	220,718	214,555	△6,162	△2.8
営 業 利 益	15,330	13,312	△2,017	△13.2

【鉄道運輸成績】

科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	増減	増減率
旅客運輸収入	百万円	百万円	百万円	%
定 期	22,525	22,157	△367	△1.6
定 期 外	33,649	32,572	△1,077	△3.2
計	56,175	54,729	△1,445	△2.6
輸送人員	千人	千人	千人	%
定 期	186,066	183,146	△2,920	△1.6
定 期 外	145,914	141,371	△4,543	△3.1
計	331,980	324,517	△7,463	△2.2